

# ひとしずくの森

## オープンイングイベント大盛況!

5月9日開催のオープンイングイベントは、あいにくの天候にも関わらず、千百人の参加者で終日賑わいました。

また、オープンイングイベントを含むゴールデンウィーク期間中の体験者は千五百人、入館者は二千八百人と、コロナ対策による入場制限や天候不順の中でも盛況となりました。

一、オープンイングイベント  
今回のオープンイングイベントは、置賜総合支庁からのご指導や当機構の感染防止マニュアルに基づき、スタッフ、来場者の体温測定、手指の消毒、お客様が触れる館内施設の定期的消毒、間仕切りの設置、換気の徹底などを行った上で、入場者数や体験時間を制限するなど、感染防止対策に努めました。また、当日協力いただいたインタープリターの方々にも、事前ミーティングで周知と協力をお願いしたところです。

オープンングセレモニーではアルプホルンの合奏に続き、源流の森安達館長と置賜総合支庁の片桐森づくり推進室長からご挨拶をいただき、スタートしました。

開催内容としては、冒険教室や陶芸、クラフトなどの常設プログラムを無料とし、先着順でご体験いただきました。また、特別ブースとして、森のホームステイや、きのこ植菌体験、働く林業機械の乗車体験、木登りツリーイング、緑のプレゼントなどの会場を設け、それぞれに入場制限や事前予約などにより三密を避けながら、多様な体験メニューを準備しました。

当日は、朝から雨模様でしたが、天候の回復を期待して開館時間からお客様が次々とつしやいました。

中에서도、今回の目玉である水没林めぐりに、通常の十倍ものお客様が殺到し、午前・午後とも少人数に分かれたパティーマーが次々に出発しました。



コロナ対策した陶芸教室

また、きのこ植菌体験では子供さんでも体験しやすいハーフサイズのホダ木を準備。タコジンドイスタープリターの重鎮の皆さんから丁寧な指導いただきました。

さらに、展示したプロセッサに子供たちの人気が集。乗車姿をスマホに収めようと、長蛇の列が。 (将来の林業後継者確保は安泰か?)

常設の冒険教室、陶芸、クラフトとも休憩無しの大車輪でしたが、午後二時を前には各ブースから次々と資材切れの報告が入りました。受付で説明を受け、ガツカリして帰ろうとする親子に申し訳なく思っていたところに、陶芸再開の報が。さっきの親子を追いかけ、急いでアトリエに向かっ



働く林業機械に長蛇の列

てもらいました。(源流の森を、嫌いなならないでもらえてよかったです!)

オープンングイベントは、本社や協力いただいた関係者のお陰で盛況でした。



### 二、ゴールデンウィーク期間中

今年のゴールデンウィークは、四月二十九日の開館日から五月九日まで、六日の休館日を除く十日間、職員は出ずっぱりでしたが、常設プログラムではどうか一日平均百名近いお客様をさばくことが出来ました。

この間、コロナによる入場制限や地震は来る、水没林目当ての観光客で中津川は3km以上の大渋滞が起こるなど、かつてない状況の中、何とかやってこれたのは、県内各地から駆けつけてくれたインタープリターの皆さんのお陰です。自分達の貴重な時間を割いてでも源流の森を助けてくれる皆さんには本当に感謝しかありません。

期間中は、予約や問合せの電話で昼食もトイレもままならない状況でしたが、コロナ対策をしながらも受入数の拡大と、インタープリターの活動支援に努めたいと思います。

| 常設 | 森林教室 | 冒険教室 | 陶芸教室 | クラフト | 合計(人) |
|----|------|------|------|------|-------|
|    | 75   | 110  | 462  | 373  | 1,020 |

### 鈴木真世さん(陶芸担当)



☆ご出身は

南陽市です。

☆源流の森では

陶芸の指導員をしています。

☆好きなもの(事)は

ペットとして、クサガメとフアンシーラットを飼っています。

☆得意なことは

似顔絵を十分ぐらいで描けます。

☆源流の森でやりたいことは

祖父が若いころ炭焼きをしていたのと、陶芸の窯にも似ているので、炭を焼くところを見てみたいです。

☆お客様へのメッセージ

小さなお子さんでも作れるよう準備していますので、作陶にどんな挑戦してください。お待ちしております。

### ☆「めんどしと」え☆ ☆ニューフェースのご紹介☆

遠藤年明さん(施設整備担当)

☆ご出身は

川西町(玉庭)です。

☆源流の森では

園内の整備や管理を担当しています。

☆好きなもの(事)は

釣りと畑仕事(野菜づくり)です。

☆得意なことは

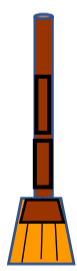
木材を使って物(日用品や家具)を作ることが得意です。

☆源流の森でやりたいことは

園内をいつもきれいにしておくこと

☆お客様へのメッセージ

自然に恵まれ見るものがたくさんある源流の森へ遊びに来てください。



### 源流の森 シツタ力塾

#### カタクリの巻

置賜でカタゴと呼ばれるカタクリは、天平時代(約千二百年前)から山菜として親しまれてきました。万葉集にも、大伴家持が富山の国司だった時、読んだ歌があります。

「ものものふの やお乙女らが摘みまごう 寺井の上のカタカゴの花」

春に葉を摘んで茹で、干して保存しますが、たくさん取ってもガツガツするほど小さくなります。中津川では、干したものを水で戻し、身欠きニシンなどと煮物にします。

ユリ科の多年草で、早春に花を開き、盛春には枯れてしまします。実はエライオゾムと言う甘い匂いのゼリーがあり、蟻に運ばれて巣の周辺に種が撒き散らされることで増えていきます。花を咲かせるまでに発芽から八年以上かかります。

根にはデンプンを含むため、昔は地中深くの根をたくさん掘り取り、水でさらして片栗粉を作りました。現在の片栗粉はほとんどがジャガイモのデンプンです。

カタクリは、柴刈りが行き届いたナラ林など、里山を代表する花でしたが、近年は減少しています。



カタクリ (冒険の森)

### 所長イッシーのネホダレ

この度、所長を拝命しましたイッシーです。インタープリター時代から県や関係団体、地域の方々にはご高配をいただき深く感謝申し上げます。

源流の森は、他の体験学習施設に比べアクセスでは不利な点もありますが、それを補って余りあるほどの素晴らしい自然と、奥深い山村文化、それと様々な技を持つ仲間たちがいてくれます。

フランスでは、わざわざ行く価値のある田舎のレストランが本で紹介されていますが、源流の森も「体験学習界の三ツ星施設」となれるよう、現状に満足せず、常にお客様の目線に立って、どこにもないユニークで楽しく、ためになる体験を提供していきたいと考えています。現在はコロナ禍の中、体験人数や体験内容にも制限のあるところですが、逆にお一人一人に優しいアテンドができるものと捉え、森林・林業の発展と、地域の振興の一助となるよう、職員やインタープリターの皆さんと一丸となって邁進する所存ですので、ご支援・ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

